【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成27年6月18日(2015.6.18)

【公開番号】特開2013-231116(P2013-231116A)
【公開日】平成25年11月14日(2013.11.14)
【年通号数】公開・登録公報2013-062
【出願番号】特願2012-103515(P2012-103515)
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｆ　14/18　　(2006.01)
Ｃ０８Ｆ　 8/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｆ　14/18
Ｃ０８Ｆ　 8/00

【手続補正書】
【提出日】平成27年4月24日(2015.4.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０１２７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０１２７】
本発明は、例えば、耐熱ロール、制振ゴム、衝撃吸収ストッパー、ハードディスク用ガスケット、低いシール圧が要求されるシール材、燃料電池用ガスケット等に好適に適用できる。
本開示は以下も包含する。
［１］　フルオロポリマー組成物を硬化させて得られる硬化物であって、
該フルオロポリマー組成物が、ペルフルオロオレフィン単位もしくは部分フルオロ化オレフィン単位またはこれらの組合せを含むフルオロエラストマーを含み、
該フルオロエラストマーが、多峰性の分子量分布を有し、
該硬化物が、ＪＩＳ　Ｋ６２５３　２００６に準拠して測定されるデューロＡ硬さ４５以下を有する、硬化物。
［２］　該フルオロエラストマーの分子量分布が２５超である、上記態様１に記載の硬化物。
［３］　該フルオロエラストマーの数平均分子量が、２万以上４０万以下である、上記態様１または２に記載の硬化物。
［４］　該フルオロエラストマーのフッ素含有率が、３０質量％以上７５質量％以下である、上記態様１～３のいずれかに記載の硬化物。
［５］　該フルオロエラストマーのムーニー粘度（ＭＬ１＋１０，２５０Ｆ（約１２１℃））が、２～２５０である、上記態様１～４のいずれかに記載の硬化物。
［６］　該フルオロエラストマーが、全単量体単位１００モル％基準で、
テトラフルオロエチレン単位、ヘキサフルオロプロピレン単位およびフッ化ビニリデン単位からなる群から選択される１種以上の単量体単位：１０モル％以上１００モル％以下を含む、上記態様１～５のいずれかに記載の硬化物。
［７］　該フルオロエラストマーが、全単量体単位１００モル％基準で、
テトラフルオロエチレン単位、ヘキサフルオロプロピレン単位およびフッ化ビニリデン単位からなる群から選択される１種以上の単量体単位：１０モル％以上９９．７モル％以下、ならびに
ペルフルオロビニルエーテル単位およびオレフィン単位からなる群から選択される１種

以上の単量体単位：０．３モル％以上９０モル％以下
を含む、上記態様６に記載の硬化物。
［８］　該フルオロエラストマーが、全単量体単位１００モル％基準で、フッ化ビニリデン単位：４０モル％以上９０モル％以下を含む、上記態様６または７に記載の硬化物。
［９］　ペルフルオロオレフィン単位もしくは部分フルオロ化オレフィン単位またはこれらの組合せを含むフルオロエラストマーを含む、フルオロポリマー組成物であって、
　該フルオロエラストマーが、多峰性の分子量分布を有し、
　該フルオロポリマー組成物を、１７０℃にて１０分間、次いで２３０℃にて２４時間硬化させた場合に生成する硬化物が、ＪＩＳ　Ｋ６２５３　２００６に準拠して測定されるデューロＡ硬さ４５以下を有する、フルオロポリマー組成物。
【手続補正２】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　フルオロポリマー組成物を硬化させて得られる硬化物であって、
　該フルオロポリマー組成物が、ペルフルオロオレフィン単位もしくは部分フルオロ化オレフィン単位またはこれらの組合せを含むフルオロエラストマーを含み、
　該フルオロエラストマーが、多峰性の分子量分布を有し、
　該硬化物が、ＪＩＳ　Ｋ６２５３　２００６に準拠して測定されるデューロＡ硬さ４５以下を有する、硬化物。
【請求項２】
　該フルオロエラストマーの分子量分布が２５超である、請求項１に記載の硬化物。
【請求項３】
　該フルオロエラストマーの数平均分子量が、２万以上４０万以下である、請求項１または２に記載の硬化物。
【請求項４】
　該フルオロエラストマーが、全単量体単位１００モル％基準で、フッ化ビニリデン単位：４０モル％以上９０モル％以下を含む、請求項１～３のいずれか１項に記載の硬化物。
【請求項５】
　ペルフルオロオレフィン単位もしくは部分フルオロ化オレフィン単位またはこれらの組合せを含むフルオロエラストマーを含む、フルオロポリマー組成物であって、
　該フルオロエラストマーが、多峰性の分子量分布を有し、
　該フルオロポリマー組成物を、１７０℃にて１０分間、次いで２３０℃にて２４時間硬化させた場合に生成する硬化物が、ＪＩＳ　Ｋ６２５３　２００６に準拠して測定されるデューロＡ硬さ４５以下を有する、フルオロポリマー組成物。